

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行 NO. 1985	
日 時 2022年05月03日(火) 晴・風あり	
山 域 新潟・山形＝日本国(という山名の山・555m)	
コース 小俣・西登山口 12:40 一周回道分岐 13:42 一日本国山頂 13:57～14:21 一東登山口 15:16 小俣集落一鶴岡・道の駅「あつみ・しゃりん」(泊)	
標高差 上り・下り 西登山口約100m～日本国555m＝約455m	
藪漕度 なし	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
<h2>「日本国」という山に上る</h2>	

2022・連休のスタート。連休時、何故、山上りかということ、例年この時期は気温が高く好天が続く。しかし、今年は違った。大陸から寒気が南下し、前半は悪天候が続く。計画はどんどん後ろにズレ、結局、28日出発は3日発になってしまった。

鳥海山に向かう。北海道東に低気圧が停滞し、モーレツな風が吹く。途中、以前から気になっていた、「日本国(555m)」という名前の山に行く。

「日本国」は、国土地理院地形図にも正式山名として掲載されている山だ。日本珍山名リストでは、やっぱり一番に登録されている。



トイレ



登山口

日本海沿いのR7の府屋駅先を右折する。小俣川を遡り、小俣集落に着くと登山口があった。人気の山らしく、駐車場に次から次と車が来る。昼食を済ませ出発。標高555m。登山口は、標高約100mだから、1時間ちょっと。登山道は、よく整備され上り易い。流石は、「日本国」だ。路傍に、[チゴユリ](#)・雪ツバキが咲いていた。



## ブナの道

簡単に頂上着。大きな檜あった。360度の展望はなく、南西に日本海が広がり、粟島が見えた。小さな休憩小屋があった。中に「登頂の証」スタンプがあった。ビアを一本いただき下山。下山は周回コースを辿った。下山口は、登山口の東だった。ブラブラ小俣集落を歩いた。



## 日本国山頂



## 日本海の夕日

集落には、富士山 NO の車があった。帰省の方のようだ。一軒の家に驚いた。何と庭続きの鯉を飼っている池が床下まで広がっていた。家の床はガラス張りで、鯉を鑑賞できるという。凄い家だ。家はババさま独り住まい。丁度、連休で東京から息子さんが帰っていた。息子さんは、一生懸命、窓ふき孝行だった。

また、他の家では、「ゼンマイ干し」に余念がなかった。ゼンマイは、「揉めば揉むほど」良いそうだ。また、家々の玄関には、必ず「屋号」が下がっていた。本名より、「屋号」が通用しているようだ。そんなこんなで、「日本国」登山は無事終えた。





Japan Topo 10M Plus V3  
Canvas/Maple Co., Ltd 2014  
Garmin Corporation 1995-2014

2022/05/13 11:15:44

GARMIN.